

1. 総合水産試験場概要

① 沿革

明治33年	西彼杵郡深堀村に長崎県水産試験場を創設
昭和4年	長崎市丸尾町に庁舎新設移転
昭和36年	長崎市松ヶ枝町に庁舎新築移転
昭和46年	西彼杵郡野母崎町に増養殖研究所を創設
昭和53年	島原市新田町に島原分場新設移転
昭和55年	西彼杵郡野母崎町に魚病指導総合センターを創設
平成9年	長崎市多以良町に3施設を移転統合し長崎県総合水産試験場を開設
平成15年	政策調整局科学技術振興課の所管となる
平成18年	科学技術振興局科学技術振興課の所管となる
平成23年	水産部漁政課の所管となる

② 業務内容・分掌事務

管理部

総務課	総合水産試験場の運営・維持管理 調査船の維持管理
鶴丸	調査船「鶴丸」の運行、維持管理等に関すること
ゆめとび	調査船「ゆめとび」の運行、維持管理等に関すること

企画開発推進室 ——— 試験研究の企画立案・総合調整（試験研究計画を含む）に関すること

漁業資源部

海洋資源科	資源評価調査 沿岸漁業高度化支援 沿岸漁業開発調査
栽培漁業科	ハタ類資源管理技術開発 遺伝標識技術による閉鎖性海域資源増殖推進

種苗量産技術開発センター

魚類科	高品質魚類種苗の生産技術開発研究 養殖漁業の収益性をたかめる育種研究 農林水産業・食品産業科学技術研究推進（トラフグ育種）
介藻類科	環境変化に対応した藻類増養殖基礎技術開発 諫早湾貝類新增養殖技術開発 養殖貝類の優良・高品質化を目指した基礎技術の開発

水産加工開発指導センター

加工科	加工技術の指導と製品開発への支援 本県独自の新たな加工技術の開発 県産魚の品質保持と優位性の確立
-----	--

環境養殖技術開発センター

漁場環境科	漁場環境保全総合対策 諫早湾貝類新增養殖技術開発
養殖技術科	養殖魚の安定生産技術開発 魚病対策技術開発